

学位授与方針 (ディプロマポリシー)		①リハビリテーションに関する基本的知識と技術を備えている。 ②医療の高度化や社会情勢の変化に対応するために学び続ける姿勢をもち続ける。 ③チームやグループ内で他者に働きかけながら目標に向かって協働する。 ④広く国民の保健・医療・福祉の向上に寄与しようとする姿勢を備えている。													
		授業科目名		1年		2年		3年		4年		ディプロマポリシー			
専 門 科 目		授業科目名		前	後	前	後	前	後	前	後	DP-①	DP-②	DP-③	DP-④
		基礎理学療法学	基礎理学療法学	○										○	
運動発達学					○							○			
理学療法管理学	研究方法論					○							○		
	理学療法研究								○	○			○		
理学療法評価学	理学療法概論	○													○
	理学療法基礎理論				○							○			
理学療法治療学	基礎理学療法評価学		○									○			
	神経系検査法			○								○			
理学療法治療学	運動器系検査法Ⅰ(関節可動域測定)				○							○			
	運動器系検査法Ⅱ(筋力測定)				○							○			
理学療法治療学	運動・動作分析学				○							○			
	基礎運動治療技術学				○							○			
理学療法治療学	運動器系理学療法Ⅰ(骨折)					○						○			
	運動器系理学療法Ⅱ(スポーツ外傷)					○						○			
理学療法治療学	運動器系理学療法Ⅲ(脊椎・関節障害)					○						○			
	神経系理学療法学						○					○			
理学療法治療学	中枢神経系理学療法Ⅰ(脳血管障害評価)					○						○			
	中枢神経系理学療法Ⅱ(脳血管障害治療)						○					○			
理学療法治療学	中枢神経系理学療法Ⅲ(パーキンソン・失調症)						○					○			
	発達障害系理学療法学							○				○			
理学療法治療学	発達障害系理学療法学演習								○			○			
	内部障害系理学療法学						○					○			
理学療法治療学	内部障害系理学療法学演習									○		○			
	理学療法評価治療演習					○						○			
理学療法治療学	物理療法学						○					○			
	物理療法学演習							○				○			
理学療法治療学	日常生活活動評価学				○							○			
	日常生活動作指導法							○				○			
理学療法治療学	義肢・装具学								○			○			
	義肢・装具学演習									○		○			
理学療法治療学	神経系理学療法治療技術									○		○			
	運動器系治療技術Ⅰ(運動機能障害の評価と治療)							○				○			
理学療法治療学	運動器系治療技術Ⅱ(徒手理学療法)									○		○			
	地域理学療法学							○					○		○
理学療法治療学	生活環境整備学							○					○		○
	臨床見学実習Ⅰ		○									○		○	
臨床実習	臨床見学実習Ⅱ							○				○		○	
	臨床評価実習					○						○		○	
臨床実習	臨床実習Ⅰ							○				○		○	
	臨床実習Ⅱ								○			○		○	

福井医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 カリキュラム・マップ

学位授与方針 (ディプロマポリシー)		①リハビリテーションに関する基本的知識と技術を備えている。 ②医療の高度化や社会情勢の変化に対応するために学び続ける姿勢を持ち続ける。 ③チームやグループ内で他者に働きかけながら目標に向かって協働する。 ④広く国民の保健・医療・福祉の向上に寄与しようとする姿勢を備えている。															
		授業科目名		1年		2年		3年		4年		ディプロマポリシー					
				前	後	前	後	前	後	前	後	DP-①	DP-②	DP-③	DP-④		
一般教育科目	科学的思考の基盤	安全学										○					
		教育学	○										○				
		統計学					○							○			
		情報科学				○								○			
		情報処理							○					○			
		物理学	○										○				
		生物学	○										○				
		人間工学		○									○				
		哲学					○						○				
	人間と生活	心理学				○						○					
		家族心理学					○					○					
		生命倫理				○						○					
		倫理学	○									○					
		英語Ⅰ	○											○			
		英語Ⅱ					○							○			
		英語Ⅲ						○						○			
		英語Ⅳ								○				○			
		英会話	○	○										○			
	社会の理解	体育	○									○					
		フレッシュアーズセミナーⅠ	○									○			○		
		フレッシュアーズセミナーⅡ	○	○								○			○		
		文化人類学					○					○					
		人間関係論					○					○					
		社会福祉学	○													○	
		ボランティア論	○	○												○	
	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	日本国憲法	○												○	
			解剖学総論	○									○				
解剖学演習Ⅰ			○									○					
解剖学演習Ⅱ			○									○					
解剖学演習Ⅲ						○						○					
生理学			○									○					
生理学演習						○						○					
運動学							○					○					
運動学演習(バイオメカニクス)								○				○					
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進		人間発達学				○						○					
		臨床心理学							○			○					
		内科学Ⅰ					○					○					
		内科学Ⅱ					○					○					
		臨床神経学				○						○					
		臨床神経学演習					○					○					
		整形外科学				○						○					
		スポーツ整形外科				○						○					
		精神医学				○						○					
		病理学						○				○					
		リハビリテーション医学診断学						○				○					
保健医療福祉とリハビリテーションの理念		リハビリテーション医学治療学					○					○					
		臨床栄養学					○					○					
		薬理学					○					○					
		救急処置				○						○					
		リハビリテーション概論	○									○				○	
		保健医療論	○									○				○	
		チーム医療論							○			○			○		
	環境と健康	○									○				○		
ナラティブ概論							○			○							
社会保障制度									○		○			○			
スポーツ心理学									○		○						
スポーツ内科学					○	○				○							

学位授与方針 (ディプロマポリシー)	①リハビリテーションに関する基本的知識と技術を備えている。 ②医療の高度化や社会情勢の変化に対応するために学び続ける姿勢を持ち続ける。 ③チームやグループ内で他者に働きかけながら目標に向かって協働する。 ④広く国民の保健・医療・福祉の向上に寄与しようとする姿勢を備えている。
-----------------------	--

授業科目名		1年		2年		3年		4年		ディプロマポリシー				
		前	後	前	後	前	後	前	後	DP-①	DP-②	DP-③	DP-④	
専門 科目	基礎作業療法学	作業療法概論	○								○		○	
		研究法					○					○		○
		研究法演習					○					○		○
		作業療法研究							○	○		○		○
		作業分析学			○							○		
		作業技法(基礎)			○							○		
		作業技法(編み物・陶芸)				○						○		
		作業技法(革細工・籐細工)				○						○		
	作業療法管理学	作業療法管理学		○							○		○	○
	作業療法評価学	作業療法評価学	○								○			
		身体機能評価演習Ⅰ		○							○			
		身体機能評価演習Ⅱ			○						○			
		心理社会機能評価演習Ⅰ		○							○			
	作業治療学	心理社会機能評価演習Ⅱ		○							○			
		作業治療学の基礎							○		○			
		身体障害作業療法学				○					○			
		身体障害作業療法学演習Ⅰ(脳血管障害・神経系疾患)				○					○			
		身体障害作業療法学演習Ⅱ(脊髄損傷・リウマチ)					○				○			
		身体障害作業療法学演習Ⅲ(骨折・切断・内部障害)					○				○			
		精神障害作業療法学		○							○			
		精神障害作業療法学演習Ⅰ(作業治療法)			○						○			
		精神障害作業療法学演習Ⅱ(臨床関係論)				○					○			
		発達障害作業療法学			○						○			
		発達障害作業療法学演習				○					○			
		高次脳神経障害学			○						○			
		老年期障害作業療法学			○						○			
		老年期障害作業療法学演習				○					○			
		日常生活活動			○						○			
		日常生活活動演習				○					○			
		作業療法演習							○		○			
		作業療法評価実習				○					○			
		作業療法治療実習Ⅰ					○				○		○	
		作業療法治療実習Ⅱ						○			○		○	
作業療法特論(基礎)						○			○	○				
作業療法特論(身体障害)						○			○	○				
作業療法特論(精神障害)						○			○	○				
作業療法特論(発達障害)						○			○	○				
作業療法特論(老年期障害)						○			○	○				
地域作業療法学	地域作業療法学				○					○			○	
	地域作業療法学演習					○				○			○	
	生活環境整備演習					○				○			○	
臨床実習	臨床見学実習Ⅰ		○							○	○	○	○	
	臨床見学実習Ⅱ					○				○	○	○	○	
	臨床評価実習			○						○	○	○	○	
	臨床実習Ⅰ					○				○	○	○	○	
	臨床実習Ⅱ						○			○	○	○	○	

福井医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 カリキュラム・マップ

学位授与方針 (ディプロマポリシー)		①リハビリテーションに関する基本的知識と技術を備えている。 ②医療の高度化や社会情勢の変化に対応するために学び続ける姿勢を持ち続ける。 ③チームやグループ内で他者に働きかけながら目標に向かって協働する。 ④豊かな人間性、仁の心を醸成できる幅広い教養を学ぶ。また他専門職を理解し、協働できるための基礎的能力を学ぶ。														
		授業科目名		1年		2年		3年		4年		ディプロマポリシー				
一般教育科目				前	後	前	後	前	後	前	後	DP-①	DP-②	DP-③	DP-④	
		一般教育科目	人文科学	心理学		○								○		
倫理学	○											○				
教育学	○											○				
文化人類学					○							○				
哲学					○							○				
社会科学	日本国憲法		○													○
	安全学						○					○				
	人間関係論					○						○				
	家族心理学				○							○				
	社会福祉学		○													○
	フレッシュャーズセミナーⅠ		○									○			○	
自然科学	フレッシュャーズセミナーⅡ		○	○								○			○	
	ボランティア論		○	○												○
	統計学					○								○		
	情報科学					○								○		
	情報処理						○							○		
	物理学		○										○			
	生物学		○										○			
外国語	人間工学			○								○				
	生命倫理			○								○				
	英語Ⅰ		○										○			
	英語Ⅱ			○									○			
	英語Ⅲ			○									○			
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	英語Ⅳ				○							○			
		英会話	○	○									○			
		保健体育	○									○				
		解剖学総論	○									○				
		解剖学演習Ⅰ	○									○				
		解剖学演習Ⅱ	○									○				
		解剖学演習Ⅲ		○								○				
		生理学	○									○				
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	生理学演習		○								○				
		運動学			○							○				
		運動学演習(バイオメカニクス)				○						○				
		人間発達学		○								○				
		臨床心理学					○					○				
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	内科学Ⅰ				○						○					
	内科学Ⅱ				○						○					
	臨床神経学		○								○					
	臨床神経学演習			○							○					
	整形外科学		○								○					
	スポーツ整形外科		○								○					
	精神医学		○								○					
	病理学			○							○					
	リハビリテーション医学診断学			○							○					
	リハビリテーション医学治療学			○							○					
リハビリテーションの理念	臨床栄養学			○							○					
	薬理学			○							○					
	救急処置		○								○					
	リハビリテーション概論	○									○				○	
	保健医療論	○									○				○	
	チーム医療論						○				○		○			
リハビリテーションの理念	環境と健康	○									○				○	
	ナラティブ概論						○				○					
	社会保障制度								○		○				○	

学位授与方針 (ディプロマポリシー)		①リハビリテーションに関する基本的知識と技術を備えている。 ②医療の高度化や社会情勢の変化に対応するために学び続ける姿勢を持ち続ける。 ③チームやグループ内で他者に働きかけながら目標に向かって協働する。 ④豊かな人間性、仁の心を醸成できる幅広い教養を学ぶ。また他専門職を理解し、協働できるための基礎的能力を学ぶ。														
		授業科目名		1年		2年		3年		4年		ディプロマポリシー				
				前	後	前	後	前	後	前	後	DP-①	DP-②	DP-③	DP-④	
専門基礎科目	こころと言語の科学	耳鼻咽喉科学			○							○				
		形成外科学				○							○			
		臨床歯科学				○							○			
		発声発語系医学		○									○			
		神経系医学		○									○			
		聴覚系医学		○									○			
		学習・認知心理学						○					○			
		心理測定法				○							○			
		言語学		○									○			
		音声学	○										○			
		音響学	○										○			
言語発達学		○									○					
専門科目	言語聴覚障害学 総論	言語聴覚障害概論	○									○				
		言語聴覚障害診断学演習				○						○				
		言語聴覚研究方法論					○					○	○			
		言語聴覚研究							○	○		○	○			
	失語・高次脳機能 障害学	失語症学				○							○			
		高次脳機能障害学				○							○			
		失語症評価演習				○	○						○			
		高次脳機能障害評価演習				○							○			
		失語症治療学						○					○			
		高次脳機能障害治療学						○					○			
	言語発達障害学	言語発達障害学				○							○			
		言語発達障害評価演習						○					○			
		言語発達障害治療学						○					○			
		言語発達障害演習								○			○			
	発声発語・嚥下障害 学	病理音声学				○							○			
		発声発語障害治療学Ⅰ（小児）				○							○			
		発声発語障害治療学Ⅱ（成人）					○						○			
		発声発語障害治療学Ⅲ（音声・非流暢性発話）						○					○			
		摂食・嚥下障害学				○							○			
		発声発語・摂食嚥下評価演習					○						○			
		摂食・嚥下障害治療学						○					○			
		成人聴覚障害学				○							○			
	聴覚障害学	聴覚障害評価演習				○							○			
		小児聴覚障害学						○					○			
		聴覚障害治療学						○					○			
		聴覚補償学								○			○			
	臨床実習	臨床見学実習		○									○	○	○	○
臨床評価実習					○							○	○	○	○	
臨床実習Ⅰ（訓練）								○				○	○	○	○	
臨床実習Ⅱ（統合）									○			○	○	○	○	
選択必修科目	-	カウンセリング					○					○			○	
		言語聴覚検査演習Ⅰ（小児）				○							○			
		言語聴覚検査演習Ⅱ（成人）					○						○			
		言語聴覚評価演習					○						○			
		地域参加支援演習Ⅰ（理論）					○						○	○	○	
		地域参加支援演習Ⅱ（実践）						○					○	○	○	
		地域参加論Ⅰ（理論）								○			○	○	○	
		地域参加論Ⅱ（統合）									○		○	○	○	
言語聴覚臨床総論									○		○					

福井医療大学 保健医療学部 看護学科 カリキュラム・マップ

学位授与方針 (ディプロマポリシー)		①人間の生命および個人を尊重し、看護の実践者として必要な倫理感と豊かな人間力を獲得した人 ②看護の実践者として必要な知識・技術を修得し、健康状態や生活における諸問題を適切に把握し看護的判断ができる能力を修得した人 ③地域で生活する人々や援助を必要とする人々に、保健・医療・福祉領域との連携を図りながら看護を実践できる能力を修得した人 ④社会環境の変化やニーズに応じた看護を実践できる能力を修得した人															
		授業科目名		1年		2年		3年		4年		ディプロマポリシー					
				前	後	前	後	前	後	前	後	DP-①	DP-②	DP-③	DP-④		
一般教育科目	科学的思考の基盤	安全学						○				○	◎				
		教育学	○									○					
		統計学				○							○	◎	○	○	
		情報科学				○						○	○				
		情報処理						○				○	○				
		物理学	○									○	○				
		生物学	○										◎				
		人間工学		○								○	◎				
		文化人類学			○							○				○	
		哲学			○							○					
	人間関係論				○						○	◎					
	人間と人間の生活の理解	心理学		○								○	◎	○			
		家族心理学			○							○					
		生命倫理		○								◎					
		倫理学	○									◎					
		社会福祉学	○										○	◎	○		
		ボランティア論	○	○								○					
		英語 I	○									◎				○	
		英語 II				○						◎				○	
		英語 III				○						○				○	
		英語 IV					○					○				○	
		英会話	○	○								○				○	
		フレッシュャーズセミナー I	○									◎					
		フレッシュャーズセミナー I セミナー II	○	○								○			◎		
		日本国憲法	○									◎					
		体育	○									○					
		専門基礎科目	のび機構人 発心能造体 達身及との	身体構造機能学 I	○	○									◎	○	
				身体構造機能学 II	○	○									◎	○	
生化学					○									◎	○		
疾病の成り立ちと回復の推進	病態学総論			○									◎	○			
	疾病治療論 I (外科)			○									◎	○			
	疾病治療論 II (整形・脳神経)				○								◎	○			
	疾病治療論 III (排泄・感覚・脳)				○								◎	○			
	疾病治療論 IV (呼吸・循環・血液)			○									◎	○			
	疾病治療論 V (腎臓・内分泌・消化器)				○								◎	○			
	老年疾病治療論				○								◎	○			
	母子疾病治療論 I (小児)				○								◎	○			
	母子疾病治療論 II (周産期・女性疾患)				○								◎	○			
	精神疾病治療論				○								◎	○			
	リハビリテーション医学治療学				○								◎	○			
	微生物学			○									◎	○			
	臨床栄養学				○								◎	○			
	薬理学			○									◎	○			
	健康支援と社会保障制度		多職種連携論				○						○		◎	○	
チーム医療論							○					○	○	◎	○		
医療リスクマネジメント論						○							◎				
ヘルスケアシステム論						○							○	◎	○		
看護と法律					○							○	○	◎			
健康増進科学			○										○	◎			
健康増進科学演習				○									○	◎			
環境と健康			○									○	○	○			
生涯発達心理学					○								○				
健康教育論				○									○	○			
感染管理学					○								◎	○			

学位授与方針 (ディプロマポリシー)		①人間の生命および個人を尊重し、看護の実践者として必要な倫理感と豊かな人間力を獲得した人 ②看護の実践者として必要な知識・技術を修得し、健康状態や生活における諸問題を適切に把握し看護的判断ができる能力を修得した人 ③地域で生活する人々や援助を必要とする人々に、保健・医療・福祉領域との連携を図りながら看護を実践できる能力を修得した人 ④社会環境の変化やニーズに応じた看護を実践できる能力を修得した人													
		授業科目名		1年		2年		3年		4年		ディプロマポリシー			
専門科目				前	後	前	後	前	後	前	後	DP-①	DP-②	DP-③	DP-④
		基礎看護	基礎看護学総論	○	○									○	◎
基礎看護学援助論Ⅰ（日常生活にかかわる技術）	○												◎		
基礎看護	基礎看護学援助論Ⅱ（看護過程技術）		○										◎		
	基礎看護学援助論Ⅲ（診療にかかわる技術）			○									◎		
基礎看護	フィジカルアセスメント		○										◎		
	看護管理・教育学概論								○			○			◎
基礎看護	基礎看護学実習Ⅰ		○										◎		
	基礎看護学実習Ⅱ			○									◎		
領域別看護	成人看護学総論		○										◎		
	急性期成人臨床看護学			○									◎		
領域別看護	回復期成人臨床看護学			○									◎		
	慢性期成人臨床看護学				○								◎		
領域別看護	終末期成人臨床看護学				○								◎		
	成人看護学演習						○						◎		
領域別看護	救急看護論						○						◎		
	急性期成人看護学実習							○	○				◎	○	
領域別看護	回復期成人看護学実習							○	○				◎	○	
	慢性期成人看護学実習							○	○				◎	○	
領域別看護	老年看護学総論				○								◎		
	老年臨床看護学						○						◎		
領域別看護	老年看護学演習						○						◎		
	老年看護学実習Ⅰ							○	○				◎	○	
領域別看護	老年看護学実習Ⅱ							○	○				◎	○	
	小児看護学総論				○								◎		
領域別看護	小児臨床看護学						○						◎		
	小児看護学演習							○					◎		
領域別看護	小児看護学実習							○	○				◎	○	
	母性看護学総論				○								◎		
領域別看護	母性臨床看護学						○						◎		
	母性看護学演習							○					◎		
領域別看護	母性看護学実習							○	○				◎	○	
	精神保健看護学総論				○								◎		
領域別看護	精神臨床看護学						○						◎		
	精神看護学演習							○					◎		
領域別看護	精神看護学実習							○	○				◎	○	
	統合看護												◎		
統合看護	広域看護学総論				○								◎	◎	
	在宅看護学						○						◎	◎	
統合看護	在宅看護学演習							○					◎	◎	
	家族看護論							○					◎	◎	
統合看護	在宅看護学実習							○	○				◎	◎	
	国際看護論									○					◎
統合看護	リハビリテーション看護論						○							○	
	ヘルスアセスメント						○						◎		
統合看護	看護研究方法論				○										◎
	看護研究							○	○						◎
統合看護	統合実習								○				◎		○
	生活習慣病予防論						○						○	◎	
統合看護	思春期健康論				○								○	◎	
	認知症看護援助論						○						◎		
統合看護	リエゾン看護論						○						◎		○
	災害看護学									○			○	◎	
統合看護	組織とリーダーシップ学									○			◎		○